

高齢者・障害者のための

お役立ち手作り 自助具

自助具とは、運動機能などに障害のある人のために、自力で日常生活動作を行えるように工夫して作られた器具・道具をいいます。

提供 / 社会福祉法人 北九州市福祉事業団 福祉用具プラザ北九州
〒802-8560 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目7-1 総合保健福祉センター1階
TEL. (093) 522-8721 FAX. (093) 522-8771

モールドクッションを作ろう

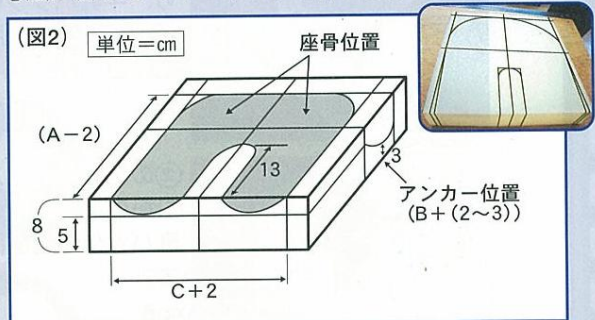


作り方

- 1 利用者の姿勢を決定し、下図のA・B・Cの寸法を測ります。(図1)



- 2 寸法に合わせてマーキングを行います。(図2)



- 3 カッターで②の臀部から大腿部を削っていきます。



- 4 大まかに削ったら座ってみてフィッティングを確認します。合っていない部分は少しずつ削り調整します。

- 5 削り出しが終わったら、ワイヤーブラシでこすって滑らかにします。

材料

ウレタンフォーム …1個
(厚さ8cm、40×40cm)
ウレタンカッター

※材料・工具はインターネットまたは福祉用具プラザ北九州へご連絡ください。

高齢による筋力低下や、障害により座位姿勢が安定しない方、長時間のいすや車椅子での座位で臀部が前や横にずれて体が傾くなど、姿勢の崩れがある方におすすめです。

※感覚麻痺の方や、自分で動くことが全くできない方など、床ずれの危険がある方には適しません。

ポイント

- 写真のようにアンカー部分を作ることによって骨盤がより安定します。
- 深く削りすぎたときには、スプレーのりでウレタンを接着し削り直すとよいでしょう。
- 車椅子に使用するときには、底の両側を斜めに切り落とすことで安定します。
- カバーをかける場合は伸縮性、通気性のある布で作るとよいでしょう。

※このコーナーの自助具は全国の先輩方のアイデアを福祉用具プラザ北九州で作製・改良したものを掲載しています。